

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

九州大学教育経営学研究室（代表 教授 中留，武昭）
九州大学教育経営学研究室：教授：学校経営学，教育行政学，教育制度学

<https://doi.org/10.15017/767>

出版情報：教育経営学研究紀要. 4, pp.155-173, 1997-10-30. 九州大学教育学部教育経営学研究室
バージョン：
権利関係：

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

九州大学教育経営学研究室
(代表 教授 中留武昭)

— おねがい —

1. 時下、校長先生におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。校務ご多忙な折、突然にこのような調査のご協力をお願いする非礼をお許し下さい。この調査は、校長先生を対象にして、学校改善を促進するための学校の文化的要因を明らかにするためのものです。なお、本調査は福岡市内の小・中学校の校長先生を悉皆調査の対象にさせていただいております。調査結果はコンピューターによって処理し、教育研究（文部省科学研究費一般研究C代表中留武昭）の資料にさせていただきます。研究の発表にあたっては貴学校名ならびに貴職のお名前は公表いたしませんので、日頃お考えになられている通りのことをご記入いただければ幸いです。
2. この調査票は、平成8年2月25日までに同封の封筒にてご返送くださいますよう、お願い申し上げます。
3. この調査に関するご質問がございましたら、下記の研究室までお問い合わせください。
4. なお、ご希望がございましたら、調査結果を報告させていただきますので、調査票の裏面に送付先をお書き添え下さい。

問い合わせ先：〒812-81 福岡市東区箱崎6-19-1

九州大学教育学部教育経営学研究室

電話092-641-1101

教授 中留武昭 (内線3356)

助手 元兼正浩 (内線3372)

何卒ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。以下、A調査、B調査双方をご回答下さい。

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

A 調査（設問Q1～Q8）

Q1. 今、貴校における教育課題の中で最も重要な分野はどれですか。1～13の中から一つだけ選んでご記入下さい。

	校 長	教 員
1 学校週5日制への対応	4	10
2 いじめ、校内暴力、不登校問題への対応	10	41
3 新しい学力観の教育の充実	52	58
4 学習指導法の工夫（TT等含め）	12	39
5 教員研修の活性化（校内研修含め）	24	14
6 人権尊重教育の推進（同和教育含め）	6	39
7 個性化教育	2	16
8 心の教育	10	32
9 基礎・基本の学力保障	14	19
10 国際化、情報化、生涯学習社会など社会の変化への対応	8	8
11 開かれた学校への転換	2	3
12 児童・生徒の減少への対応	2	1
13 その他（ ）	2	3
無回答	0	2
	148	285

Q2. 上のQ1で○をつけた教育課題を改善していくために、現在とりくんでいる戦略（方策、ストラテジー）のうち、下記に挙げる1～11のなかから、重要なものを二つだけ選び、重要な順にその記号を書き入れて下さい。

	校 長		教 員	
	第1位	第2位	第1位	第2位
1 教育目標の具現化（具体化）	10	4	27	8
2 教育課程内容の改革	15	5	46	22
3 組織体制づくり	14	18	27	18
4 教頭・主任等のリーダー層教員の育成	9	13	10	7
5 若い教員層の育成	3	6	5	14
6 校内研修の活性化	37	41	45	53
7 授業の改善	37	23	56	62
8 教職員団体への対応	5	5	1	3
9 学校風土や雰囲気活性化	5	10	12	20
10 生徒指導（いじめ、不登校問題含む）の対応	6	8	37	21
11 地域社会や家庭との連携	5	14	12	45
12 その他（ ）	1	0	1	3
無回答	1	1	6	9
	148	148	285	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ. 上のQ2で第1位に選んだ教育課題の改善の程度は現時点でどのくらいですか。
該当する記号を記入して下さい。

	校長	教員
1 かなり改善された	22	24
2 やや改善された	86	155
3 あまり改善されていない	37	83
4 全く改善されていない	2	16
無回答	1	7
	148	285

Q3. 日常的に校長としてリーダー行動をとられる際に主に次の分野のいずれに重点を置かれていますか。下記の1～10の中から、「実際」に重点を置いているもの、また、「理想」として重点を置くべきと考えているものを、それぞれ選んでご記入下さい。

	校長		教員	
	第1位	第2位	第1位	第2位
1 教育目標・教育計画の策定	14	44	52	54
2 教育課程の管理	33	18	50	23
3 校務分掌の合理化	15	11	8	60
4 児童・生徒の直接的指導	29	2	41	58
5 同和教育	8	2	10	16
6 研修・研究	42	43	38	24
7 施設および事務	0	1	10	11
8 学校評価	1	13	21	6
9 PTAおよび地域社会	5	9	28	6
10 教育行財政	0	2	11	9
無回答	1	3	16	18
	148	148	285	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q4. ご体験から、校長先生の全校集会での講話は、関係者の行動を結果的にどの程度、変える可能性をもっているものとお考えですか。下記A～Eのそれぞれについてお答え下さい。

		かなり ある	やや ある	あまり ない	まったく ない	無回答	計
A 教職員の教育使命観を喚起することになる	校長	38	91	16	1	2	148
	教員	44	125	82	25	9	285
B 学校全体の雰囲気を作成することになる	校長	60	83	3	0	2	148
	教員	58	140	67	11	9	285
C 親の学校に対する態度を変えることになる	校長	9	78	55	3	3	148
	教員	34	110	110	20	11	285
D 児童生徒の成長を促進することになる	校長	57	89	0	0	2	148
	教員	59	147	58	12	9	285
E 校長自らのリーダー行動を変えることになる	校長	41	92	12	0	3	148
	教員	35	124	94	13	19	285

Q5. 校長先生としての教育信条（信念）を一行見出し風に端的にご記入下さい。

(別表参照)

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q6. 校長としてリーダーシップをとられる場合、主として次の1~4のどの項目に重点を置いておられますか。「実際」に重点を置いている項目と「理想」として重点を置くべきだと思われる項目とを1つずつ選んでご記入下さい。

	校 長		教 員	
	実 際	理 想	実 際	理 想
1 校務の合理的処理に焦点をあてる	30	47	80	66
2 教職員の直接的教育活動（特に授業）の支援に焦点をあてる	75	64	95	92
3 職員室での雰囲気改善に焦点をあてる	34	21	51	59
4 児童、生徒の学習活動（授業を含む）を直接指導することに焦点をあてる	9	15	23	40
無回答	0	1	36	28
	148	148	285	285

Q7. 校長としてのリーダー行動をとることを困難にさせている要因（分野）は何ですか。下記の1~14の中から、順位第2位まで番号でご回答下さい。

	校 長		教 員	
	第1位	第2位	第1位	第2位
1 校務分掌の負担のアンバランス	5	4	18	31
2 教職員構成（年齢・男女比）のアンバランス	19	15	52	26
3 施設、設備の不備	5	7	13	15
4 教頭・主任等のリーダー層教師の力量不足	36	16	23	20
5 教頭との連携	1	0	4	4
6 子どもを取り巻く環境（国際化、情報化、生涯学習など）の変化による教育計画作成の際の不透明性	11	11	24	20
7 教職員間の教育観のちがひ（対立）	37	31	59	35
8 PTA、地域社会のニーズ	0	10	21	15
9 学校週5日制の進行	0	3	1	2
10 教育課程管理の非弾力性、形式性	9	11	17	28
11 学校財政面の不備	4	14	7	12
12 児童・生徒間にのみつながっている価値観、裏文化	4	4	1	10
13 職員団体との軋轢（あつれき）	14	16	7	7
14 教育委員会（事務局）との軋轢（あつれき）	0	1	6	12
無回答	3	5	32	48
	148	148	285	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q8. 今後の学校の役割として校長先生ご自身が望ましいとお考えのことは、次の1・2のどちらに近いでしょうか。

	校 長	教 員
1 今後の学校の役割は、知・徳・体のうち、徳・体は家庭教育や社会教育に重点を移しながら、知育に集中させ、学校のスリム化をはかるべきである。	28	70
2 今後の学校の役割は、知・徳・体のバランスを全体としてこわさないように、スリム化をはかるべきである。	120	207
無回答	0	8
	148	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

B 調査 (設問 Q9~Q12)

以下、校長先生ご自身の判断でお答えください。

Q9 - 1. 下記の A から K までの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の 1~5 のどの考えに近いでしょうか。それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q9 - 2. また、そうした「現状」を当然と考えている (当然視するであろう) 教師は、どのくらいいると思われますか。A~K の各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 「現状」を当然と考えている教師が、 <u>かなり多い</u> 場合は | 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、 <u>半数くらい</u> の場合は | 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、 <u>かなり少ない</u> 場合は | 3 |

9 - 1 「現状」の認識

		全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	無回答	計
A わが校では、校長の教育信条 (理念) が子どもにまで浸透しにくい。	校長	4	14	32	82	12	4	148
	教員	13	44	84	109	25	10	285
B わが校では、全校の目標や計画の達成に対する関心や、参加に対する同僚教師の意識が低い。	校長	3	21	49	58	14	3	148
	教員	7	29	82	133	26	8	285
C わが校では、同僚と共に働くことに意欲的な雰囲気欠けている。	校長	1	11	27	90	16	3	148
	教員	9	15	67	137	49	8	285
D わが校では、自分のしていることが学年や分掌とどうかかっているのかははっきりしない	校長	2	9	32	87	14	4	148
	教員	4	15	45	164	48	9	285
E わが校では、学級や教科の間でも子どもの活動に関するコミュニケーションが流れにくい。	校長	0	6	32	88	19	3	148
	教員	3	10	66	163	35	8	285
F わが校では、校長が教師とインフォーマルな話し合いの機会をもつことが少ない。	校長	1	11	29	84	20	3	148
	教員	18	52	81	100	25	9	285
G わが校では、職員会議で意見やアイデアが出されてもそれらがとりあげられて実現されることが少ない。	校長	0	6	27	92	19	4	148
	教員	10	35	69	134	28	9	285
H わが校では、仕事に対する責任があいまいである。	校長	3	8	29	74	30	4	148
	教員	4	19	68	150	37	7	285
I わが校では、親との間に対立葛藤が生じている。	校長	2	3	27	101	12	3	148
	教員	1	14	65	161	35	9	285
J わが校では、親に「学校まかせ」の傾向がある。	校長	3	33	53	51	5	3	148
	教員	17	48	117	89	6	8	285
K わが校では、職員室に日常のあたたかな雰囲気が少ない。	校長	1	6	23	79	36	3	148
	教員	8	24	63	127	55	8	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

9-2 当然視する教員の割合

		多	い	半	数	少	ない	無回答	計
A わが校では、校長の教育信条（理念）が子どもにまで浸透しにくい。	校長	24	56	62	6	148			
	教員	90	98	71	26	285			
B わが校では、全校の目標や計画の達成に対するの関心や、参加に対する同僚教師の意識が低い。	校長	38	52	51	7	148			
	教員	80	109	71	25	285			
C わが校では、同僚と共に働くことに意欲的な雰囲気欠けている。	校長	28	40	74	6	148			
	教員	68	102	88	27	285			
D わが校では、自分のしていることが学年や分掌とどうかかわっているのかはっきりしない	校長	24	47	71	6	148			
	教員	62	96	102	25	285			
E わが校では、学級や教科の間でも子どもの活動に関するコミュニケーションが流れにくい。	校長	23	44	72	9	148			
	教員	61	101	99	24	285			
F わが校では、校長が教師とインフォーマルな話し合いの機会をもつことが少ない。	校長	31	50	58	9	148			
	教員	91	106	63	25	285			
G わが校では、職員会議で意見やアイデアが出されてもそれらがとりあげられて実現されることが少ない。	校長	20	53	68	7	148			
	教員	75	103	83	24	285			
H わが校では、仕事に対する責任があいまいである。	校長	24	34	84	6	148			
	教員	68	106	87	24	285			
I わが校では、親との間に対立葛藤が生じている。	校長	26	34	81	7	148			
	教員	56	99	105	25	285			
J わが校では、親に「学校まかせ」の傾向がある。	校長	40	58	44	6	148			
	教員	81	117	62	25	285			
K わが校では、職員室に日常のあたたかな雰囲気が少ない。	校長	27	39	77	5	148			
	教員	73	94	93	25	285			

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ10-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～K）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Jの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

	SQ1		SQ2	
	校長	教員	校長	教員
A わが校では、校長の教育信条（理念）が子どもにまで浸透しにくい。	5	21	10	8
B わが校では、全校の目標や計画の達成に対するの関心や、参加に対する同僚教師の意識が低い。	10	10	45	43
C わが校では、同僚と共に働くことに意欲的な雰囲気欠けている。	11	14	7	20
D わが校では、自分のしていることが学年や分掌とどうかかわっているのかはっきりしない	3	8	8	10
E わが校では、学級や教科の間でも子どもの活動に関するコミュニケーションが流れにくい。	3	5	10	9
F わが校では、校長が教師とインフォーマルな話し合いの機会をもつことが少ない。	2	23	5	20
G わが校では、職員会議で意見やアイデアが出されてもそれらがとりあげられて実現されることが少ない。	3	10	6	27
H わが校では、仕事に対する責任があいまいである。	4	8	7	17
I わが校では、親との間に対立葛藤が生じている。	8	8	3	14
J わが校では、親に「学校まかせ」の傾向がある。	21	31	22	41
K わが校では、職員室に日常のあたたかな雰囲気が少ない。	7	11	0	21
無回答	8	23	25	55
	148	285	148	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q10-1. 下記のAからJまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1~5のどの考えに近いでしょうか。
それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q10-2. また、そうした「現状」を当然と考えている（当然視するであろう）教師は、どのくらいいると思われますか。
A~Jの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | | |
|--|---|
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>かなり多い</u> 場合は | 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>半数くらい</u> の場合は | 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>かなり少ない</u> 場合は | 3 |

10-1 「現状」の認識

		全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	無回答	計
A わが校では、学校全体の教育課程の編成は校長をはじめ教務主任レベルまでしか関与していない。	校長	4	14	25	58	43	4	148
	教員	4	40	60	100	63	18	285
B わが校では、学習指導要領が自由で創造的な教育活動を制約している。	校長	1	3	16	91	33	4	148
	教員	9	25	60	148	27	16	285
C わが校では、教科書が自由で創造的な教育活動を制約している。	校長	1	0	7	100	37	3	148
	教員	4	17	42	160	47	15	285
D わが校では、進学のための指導が自由で創造的な教育活動を制約している。	校長	0	8	15	71	46	8	148
	教員	6	27	40	124	70	18	285
E わが校では、教科に関する従来の指導方法をかえることをあまりしない。	校長	5	38	51	39	12	3	148
	教員	5	40	89	107	30	14	285
F わが校では、教科の年間計画の作成や授業の工夫は、教科や学年の組織でとりくむよりも教師の個人的工夫にまかせている。	校長	4	14	41	69	16	4	148
	教員	29	70	69	73	29	15	285
G わが校では、授業評価において、特に統一した評価項目を教師間で作成していない。	校長	7	32	29	46	31	3	148
	教員	29	52	69	83	33	19	285
H わが校では、生徒指導における規律づくりを担当部門にまかせている。	校長	1	9	29	73	31	5	148
	教員	20	48	81	89	31	16	285
I わが校では、もっぱら教師が生徒集団の中に秩序をつくっている。	校長	1	24	49	57	10	7	148
	教員	10	48	110	85	13	19	285
J わが校では、教師が特別活動の計画・実施を教科の授業の計画・実施ほどには重視していない。	校長	3	24	35	63	18	5	148
	教員	9	40	72	110	40	14	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

10-2 当然視する教員の割合

		多	い	半	数	少	ない	無回答	計
A	わが校では、学校全体の教育課程の編成は校長をはじめ教務主任レベルまでしか関与していない。	校長	36	38	67	7	148		
		教員	74	100	75	36	285		
B	わが校では、学習指導要領が自由で創造的な教育活動を制約している。	校長	32	34	74	8	148		
		教員	63	108	79	35	285		
C	わが校では、教科書が自由で創造的な教育活動を制約している。	校長	33	21	87	7	148		
		教員	57	91	103	34	285		
D	わが校では、進学のための指導が自由で創造的な教育活動を制約している。	校長	36	23	78	11	148		
		教員	65	93	92	35	285		
E	わが校では、教科に関する従来の指導方法をかえることをあまりしない。	校長	38	64	38	8	148		
		教員	69	123	59	34	285		
F	わが校では、教科の年間計画の作成や授業の工夫は、教科や学年の組織でとりくむよりも教師の個人的工夫にまかせている。	校長	34	54	53	7	148		
		教員	96	96	60	33	285		
G	わが校では、授業評価において、特に統一した評価項目を教師間で作成していない。	校長	42	51	48	7	148		
		教員	76	111	60	38	285		
H	わが校では、生徒指導における規律づくりを担当部門にまかせている。	校長	29	42	70	7	148		
		教員	76	117	57	35	285		
I	わが校では、もっぱら教師が生徒集団の中に秩序をつくっている。	校長	33	58	48	9	148		
		教員	68	116	63	38	285		
J	わが校では、教師が特別活動の計画・実施を教科の授業の計画・実施ほどには重視していない。	校長	33	51	56	8	148		
		教員	72	111	67	35	285		

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ10-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～J）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Jの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

	SQ1		SQ2	
	校長	教員	校長	教員
A わが校では、学校全体の教育課程の編成は校長をはじめ教務主任レベルまでしか関与していない。	10	11	10	15
B わが校では、学習指導要領が自由で創造的な教育活動を制約している。	6	12	3	23
C わが校では、教科書が自由で創造的な教育活動を制約している。	1	4	2	3
D わが校では、進学のための指導が自由で創造的な教育活動を制約している。	10	15	7	23
E わが校では、教科に関する従来の指導方法をかえることをあまりしない。	13	14	55	34
F わが校では、教科の年間計画の作成や授業の工夫は、教科や学年の組織でとりくむよりも教師の個人的工夫にまかせている。	7	38	12	33
G わが校では、授業評価において、特に統一した評価項目を教師間で作成していない。	14	13	13	11
H わが校では、生徒指導における規律づくりを担当部門にまかせている。	4	10	1	22
I わが校では、もっぱら教師が生徒集団の中に秩序をつくっている。	9	9	8	17
J わが校では、教師が特別活動の計画・実施を教科の授業の計画・実施ほどには重視していない。	5	19	11	27
無回答	11	13	26	77
	148	285	148	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q11-1. 下記のAからNまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1~5のどの考えに近いでしょうか。
それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q11-2. また、そうした「現状」を当然と考えている（当然視するであろう）教師は、どのくらいいると思われますか。
A~Nの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--|
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>かなり多い</u> 場合は 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>半数くらい</u> の場合は 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>かなり少ない</u> 場合は 3 |

11-1 「現状」の認識

		全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	無回答	計
A わが校では、学校の活性化や改善についてあまり話題にならない。	校長	1	19	48	62	13	5	148
	教員	9	22	94	120	34	6	285
B わが校では、教師間で個人的悩みなどを相談し合うことが少ない。	校長	0	17	39	82	5	5	148
	教員	11	34	92	114	27	7	285
C わが校では、ふだん子どもたちの成長ぶりを話題にすることが少ない。	校長	0	4	22	89	29	4	148
	教員	3	10	24	173	68	7	285
D わが校では、教職員に「われわれ」という意識が少ない。	校長	2	8	34	85	13	6	148
	教員	8	29	89	120	24	15	285
E わが校では、何事につけても工夫よりも慣行や伝統の方を重視しやすい。	校長	1	22	64	49	6	6	148
	教員	24	57	110	64	21	9	285
F わが校では、職員会議で各自の意見がでにくい雰囲気がある。	校長	1	11	25	85	22	4	148
	教員	21	43	88	101	25	7	285
G わが校では、何事につけても、職員団体としての活動や考え方が前面に出される。	校長	11	19	24	59	31	4	148
	教員	11	20	65	139	36	14	285
H わが校では、教育に対する使命観などはふだんあまり話題にならない。	校長	5	21	45	68	5	4	148
	教員	12	36	103	104	20	10	285
I わが校では、校内研修は意欲的にやっていたがらない。	校長	4	19	41	62	18	4	148
	教員	16	33	73	120	36	7	285
J わが校では、時代や社会の動向や情報はあまり話題にならない。	校長	2	19	37	70	15	5	148
	教員	6	24	59	155	35	6	285
K わが校では、事務的仕事の処理が忙しすぎる。	校長	5	35	48	50	5	5	148
	教員	70	74	83	41	10	7	285
L わが校では、地域社会や親のことをあまり話題にしたがらない。	校長	1	9	24	95	15	4	148
	教員	1	11	52	177	38	6	285
M わが校では、授業をお互いに見せたがらない。	校長	1	20	34	58	31	4	148
	教員	15	33	83	121	27	6	285
N わが校では、体罰に無関心を装う雰囲気がある。	校長	0	2	16	92	33	5	148
	教員	4	7	45	153	68	8	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

11-2 当然視する教員の割合

		多	い	半	数	少	ない	無回答	計
A	わが校では、学校の活性化や改善についてあまり話題にならない。	校長	30	62	44	12	148		
		教員	67	127	60	31	285		
B	わが校では、教師間で個人的悩みなどを相談し合うことが少ない。	校長	23	65	47	13	148		
		教員	65	128	59	33	285		
C	わが校では、ふだん子どもたちの成長ぶりを話題にすることが少ない。	校長	26	42	68	12	148		
		教員	69	83	100	33	285		
D	わが校では、教職員に「われわれ」という意識が少ない。	校長	29	52	53	14	148		
		教員	64	125	61	35	285		
E	わが校では、何事につけても工夫よりも慣行や伝統の方を重視しやすい。	校長	30	66	39	13	148		
		教員	77	119	57	32	285		
F	わが校では、職員会議で各自の意見がでにくい雰囲気がある。	校長	31	42	63	12	148		
		教員	71	117	65	32	285		
G	わが校では、何事につけても、職員団体としての活動や考え方が前面に出される。	校長	43	35	58	12	148		
		教員	59	111	81	34	285		
H	わが校では、教育に対する使命観などはふだんあまり話題にならない。	校長	27	66	43	12	148		
		教員	59	134	57	35	285		
I	わが校では、校内研修は意欲的にやりたがらない。	校長	31	58	47	12	148		
		教員	78	118	57	32	285		
J	わが校では、時代や社会の動向や情報はあまり話題にならない。	校長	25	69	42	12	148		
		教員	60	119	73	33	285		
K	わが校では、事務的仕事の処理が忙しすぎる。	校長	44	60	32	12	148		
		教員	110	88	55	32	285		
L	わが校では、地域社会や親のことをあまり話題にしたがらない。	校長	24	54	58	12	148		
		教員	61	106	85	33	285		
M	わが校では、授業をお互いに見せたがらない。	校長	40	43	53	12	148		
		教員	72	120	59	34	285		
N	わが校では、体罰に無関心を装う雰囲気がある。	校長	23	38	74	13	148		
		教員	56	99	96	34	285		

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ11-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～N）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Nの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

	SQ1		SQ2	
	校長	教員	校長	教員
A わが校では、学校の活性化や改善についてあまり話題にならない。	10	12	11	8
B わが校では、教師間で個人的悩みなどを相談し合うことが少ない。	3	8	1	4
C わが校では、ふだん子どもたちの成長ぶりを話題にすることが少ない。	1	8	2	5
D わが校では、教職員に「われわれ」という意識が少ない。	3	4	1	16
E わが校では、何事につけても工夫よりも慣行や伝統の方を重視しやすい。	6	17	14	31
F わが校では、職員会議で各自の意見がでにくい雰囲気がある。	5	13	5	18
G わが校では、何事につけても、職員団体としての活動や考え方が前面に出される。	8	4	29	6
H わが校では、教育に対する使命観などはふだんあまり話題にならない。	6	3	9	8
I わが校では、校内研修は意欲的にやりたがらない。	5	14	11	20
J わが校では、時代や社会の動向や情報はあまり話題にならない。	2	3	5	6
K わが校では、事務的仕事の処理が忙しすぎる。	27	52	26	96
L わが校では、地域社会や親のことをあまり話題にしたがらない。	1	4	2	1
M わが校では、授業をお互いに見せたがらない。	7	10	6	5
N わが校では、体罰に無関心を装う雰囲気がある。	1	3	1	7
無回答	11	18	25	54
	148	285	148	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q12-1. 下記のAからIまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1~5のどの考えに近いでしょうか。
それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q12-2. また、そうした「現状」を当然と考えている（当然視するであろう）教師は、どのくらいいると思われますか。
A~Iの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | | |
|----------------------------|---|
| 「現状」を当然と考えている教師が、かなり多い場合は | 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、半数くらいの場合は | 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、かなり少ない場合は | 3 |

12-1 「現状」の認識

		全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	無回答	計
A わが校では、学級定員の多いことを理由にして、一人ひとりの児童・生徒を指導しようとするとりくみが少ない。	校長	0	12	16	83	33	4	148
	教員	3	9	43	151	75	4	285
B わが校では、教育目標の実現（具現化）ということばふだんあまり話題にならない。	校長	6	28	58	46	6	4	148
	教員	11	35	97	113	24	5	285
C わが校では、児童・生徒間のいじめは学校や学級の雰囲気に関わりがあるのではないかとということがふだんから話題にならない	校長	0	8	28	80	28	4	148
	教員	4	21	55	150	48	7	285
D わが校では、学級の雰囲気は一般的に受容的、積極的というよりも、むしろ消極的、沈滞的な傾向にある。	校長	2	9	21	99	13	4	148
	教員	4	21	62	148	45	5	285
E わが校では、教師が学級間の歩調をそろえることを特に重視している。	校長	2	9	21	99	13	4	148
	教員	4	21	62	148	45	5	285
F わが校では、子どもにとって学級は、自由に発言をしにくい場となっている。	校長	7	41	52	42	2	4	148
	教員	8	49	105	96	22	5	285
G わが校では、児童・生徒の遊び仲間が同じ学年や学級であることの方が多い。	校長	0	7	18	93	26	4	148
	教員	6	17	53	153	51	5	285
H わが校では、児童・生徒が集団の規範（ルール）をつくるよりも教師がつくることのほうが多い。	校長	3	60	39	32	8	6	148
	教員	21	72	96	79	13	4	285
I わが校では、学級の中で孤立している子どもが目立つ。	校長	0	34	53	52	4	5	148
	教員	15	62	110	70	20	8	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

12-2 当然視する教員の割合

		多	い	半	数	少ない	無回答	計
A わが校では、学級定員の多いことを理由にして、一人ひとりの児童・生徒を指導しようとするとりくみが少ない。	校長	31	27	80	10	148		
	教員	61	94	101	29	285		
B わが校では、教育目標の実現（具現化）ということ はふだんあまり話題にならない。	校長	43	58	37	10	148		
	教員	66	125	63	31	285		
C わが校では、児童・生徒間のいじめは学校や学級の 雰囲気に関わりがあるのではないかということがふ だんから話題にならない	校長	22	53	63	10	148		
	教員	56	106	92	31	285		
D わが校では、学級の雰囲気は一般的に受容的、積極 的というよりも、むしろ消極的、沈滞的な傾向にあ る。	校長	24	46	68	10	148		
	教員	56	115	83	31	285		
E わが校では、教師が学級間の歩調をそろえることを 特に重視している。	校長	48	61	29	10	148		
	教員	82	117	53	33	285		
F わが校では、子どもにとって学級は、自由に発言を しにくい場となっている。	校長	25	26	84	11	148		
	教員	66	96	92	31	285		
G わが校では、児童・生徒の遊び仲間が同じ学年や学 級であることの方が多い。	校長	53	48	34	13	148		
	教員	97	100	56	32	285		
H わが校では、児童・生徒が集団の規範（ルール）を つくるよりも教師がつくることのほうが多い。	校長	35	64	37	12	148		
	教員	87	108	57	33	285		
I わが校では、学級の中で孤立している子どもが目立 つ。	校長	25	32	79	12	148		
	教員	60	93	101	31	285		

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ12-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～I）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Iの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

	SQ1		SQ2	
	校長	教員	校長	教員
A わが校では、学級定員の多いことを理由にして、一人ひとりの児童・生徒を指導しようとするとりくみが少ない。	8	13	7	17
B わが校では、教育目標の実現（具現化）ということばふだんあまり話題にならない。	19	20	55	30
C わが校では、児童・生徒間のいじめは学校や学級の雰囲気に関わりがあるのではないかとということがふだんから話題にならない	6	10	8	16
D わが校では、学級の雰囲気は一般的に受容的、積極的というよりも、むしろ消極的、沈滞的な傾向にある。	8	8	8	30
E わが校では、教師が学級間の歩調をそろえることを特に重視している。	20	24	14	24
F わが校では、子どもにとって学級は、自由に発言をしにくい場となっている。	2	10	3	11
G わが校では、児童・生徒の遊び仲間が同じ学年や学級であることの方が多い。	17	32	8	21
H わが校では、児童・生徒が集団の規範（ルール）をつくるよりも教師がつくることのほうが多い。	6	20	13	44
I わが校では、学級の中で孤立している子どもが目立つ。	1	5	1	13
無回答	10	23	31	79
	148	285	148	285

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

最後に、貴校および校長先生ご自身についておうかがいします。

学校種別 小学校 ・ 中学校

学校規模 (学級数) 学級
教職員数 人 (男 人 女 人)
職員団体の加入率 約 %

校長としての経験年数 (通算) 約 年 ヶ月
本校における校長経験年数 約 年 ヶ月
教育行政経験の有無 有 (約 年) ・ 無
教頭職経験の有無 有 (約 年) ・ 無
性別 (男 ・ 女) 年齢 () 歳

もしよろしければ、学校名をご記入ください。 _____

何かご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

※ご回答まことにありがとうございました。